

sMedio

WinDVD® 4K PRO



レビューアーズガイド

目次

sMedio WinDVD 4K PRO について	3
優れた機能による快適な映像再生	3
ブルーレイ 3D™ ディスク再生サポート	3
動作環境	4
ブルーレイ 3D 再生の必要動作環境	4
ブルーレイ™ およびハイビジョンビデオファイル再生の必要動作環境	5
DVD 再生の必要動作環境	5
対応ディスクフォーマット	5
対応ファイルフォーマット	6
主な機能	7
数々の再生テクノロジー	7
無駄の無い、直感的なインターフェース	7
パフォーマンスの最適化	8
プレイリスト	8
スタンダード映像のアップスケール	8
モーションストリームライナー	9
静止画キャプチャ/クイッククリップ	10
タイムストレッチ	11
サラウンドサウンド	11
拡張ファイルフォーマット	12
ブルーレイ 3D™ 対応	12
ブルーレイ™、ブルーレイ 3D™再生テクノロジー	13
2D 映像の 3D 化テクノロジー	13

sMedio WinDVD 4K PRO について

sMedio WinDVD をご利用いただきありがとうございます。本製品は、コンピュータ上で本物の映画館のような映像を体験できる、DVD とビデオの再生ソフトウェアです。sMedio WinDVD の各インターフェースは操作しやすいようにデザインされており、簡単なステップでビデオの再生ができます。ブルーレイ 3D™ テクノロジー、DVD および AVCHD™ ビデオの再生、および、一般家庭用のプレーヤーで録画したディスクの再生機能が搭載されています。

WinDVD Pro は、ブルーレイ 3D™に対応しているだけでなく、2D の DVD-Video やスタンダードもしくはハイビジョンのビデオファイルを 3D に変換して再生することも可能です。アナグリフや NVIDIA 3D Vision などのほかにも、3D テレビや HDMI1.4 での接続でも 3D 再生が可能です。

優れた機能による快適な映像再生

WinDVD 4K Pro は高画質の映像をシンプルな操作でお楽しみいただけるよう設計されています。NVIDIA®、Intel®、AMD といったメーカーの最新の CPU または GPU に最適化されており、また、お持ちのビデオをより楽しむための様々なビデオエフェクト機能も搭載しています。モーションストリームライナーはビデオのジッタを自動的に滑らかにし、手ぶれ補正機能は、家庭用ビデオカメラでの撮影時に生じた映像のぶれを改善します。また、スタンダード映像のアスケールにより、標準画質のビデオをハイビジョン並みの画質で再生することが可能です。

ブルーレイ 3D™ ディスク再生サポート

お持ちの映像を 3D テクノロジーでお楽しみください。ブルーレイ 3 を NVIDIA 3D Vision™、その他のアナグリフ式/偏光式/液晶シャッター式の 3D 環境で再生可能です。また、2D の DVD-Video やスタンダードもしくはハイビジョンのビデオファイルを、リアルタイム処理により立体的な 3D 映像に変換して再生することもできます。

動作環境

ブルーレイ 3D 再生の必要動作環境

- オペレーティングシステム: Microsoft® Windows® 10, Windows 8.1, Windows 7 (ともに最新サービスパック適用済みのもの)
- CPU: Intel Core™ II Duo T2400 1.83 GHz 以上, または AMD Athlon™ 64 X2 3800+ 2.0 GHz 以上
- グラフィックカード: (MVC デコーダーサポートが必要)
 - NVIDIA GeForce™ 500/400/300/200 シリーズ以上
 - AMD Radeon™ HD 6000 series シリーズ以上
 - Intel H55 and Intel Core プロセッサファミリー
- メモリ: 1GB 以上
- 空きディスク容量: 330 MB(プログラムインストールに必要)
- サウンドカード: Windows 対応のサウンドカード
- 光学ドライブ: Windows 対応のブルーレイドライブ (ブルーレイ 3D 再生用)
- ネットワーク接続環境: BD-Live などのオンライン機能使用のためインターネット接続環境が必要
- 偏光式/液晶シャッター方式の場合
 - 偏光式/液晶シャッター式の再生に対応したディスプレイ
 - NVIDIA GeForce 500/400/300/200/100/9/8 シリーズ以上の VGA カードと最新アップデート済みのドライバ
 - AMD Radeon HD 6000 シリーズ以上
 - Intel H55 シリーズ以上
- HDMI 1.4 接続環境での 3D 再生の場合
 - HDMI 1.4 対応ディスプレイ または TV
 - NVIDIA GeForce 500/400/300/200/100/9/8 シリーズ以上の VGA カードと最新アップデート済みのドライバ
 - AMD Radeon HD 6000 シリーズ以上
 - Intel H55 シリーズ以上
- NVIDIA 3D Vision (液晶シャッターディスプレイ)での 3D 再生の場合
 - 120Hz 対応の PC モニター と DVI-D 接続
 - NVIDIA 3D Vision デバイス
 - NVIDIA GeForce 500/400/300/200/100/9/8 シリーズ以上の VGA カードとアップデート済みのドライバ

- eDPを通じた出力（内部 LCD、液晶シャッターディスプレイ）の場合
 - 第2世代 Intel Core プロセッサおよび最新の VGA ドライバ

ブルーレイ™ およびハイビジョンビデオファイル再生の必要動作環境

- オペレーティングシステム: Microsoft Windows 10、Windows 8.1、Windows 7（いずれも最新サービスパック適用済みのもの）
- CPU: Intel Core II Duo T2400 1.83 GHz 以上、または AMD Athlon 64 X2 3800+ 2.0 GHz 以上を推奨
- 4K ファイルの再生には、Intel HD Graphics (4th Generation Core/Haswell) または同等製品が必要です。
- グラフィックカード: NVIDIA GeForce 8/9/10 シリーズもしくは GTX シリーズ以上、AMD M7x 以上、Intel GM45/G45 シリーズ以上 (Windows 7 の場合)、Intel Core processor ファミリー
- ビデオメモリ (VRAM): 128 MB (推奨 256 MB)
- メモリ: 1GB 以上
- 空きディスク容量: 330 MB (プログラムインストールに必要)
- サウンドカード: Windows 対応のサウンドカード
- 光学ドライブ: Windows 対応のブルーレイドライブ (ブルーレイ再生時)、Windows 対応の DVD ドライブ
- ネットワーク接続環境: BD-Live などのオンライン機能使用のためインターネット接続環境が必要

DVD 再生の必要動作環境

- オペレーティングシステム: Microsoft Windows 10、Windows 8.1、Windows 7（いずれも最新サービスパック適用済みのもの）
- CPU: Intel Core II Duo T2400 1.83 GHz 以上、または AMD Athlon 64 X2 3800+ 2.0 GHz 以上を推奨
- グラフィックカード: NVIDIA GeForce 8/9/10 シリーズもしくは GTX シリーズ以上、AMD M7x 以上、Intel GM45/G45 シリーズ以上 (Windows 7 の場合) もしくは Intel® Core™ processor ファミリー
- ビデオメモリ (VRAM): 128 MB (推奨 256 MB)
- メモリ: 1GB
- 空きディスク容量: 330 MB (プログラムインストールに必要)
- サウンドカード: Windows 対応のサウンドカード
- 光学ドライブ: Windows 対応の DVD ドライブ
- ネットワーク接続環境: CPRM Pack ダウンロードにはインターネット接続環境が必要

対応ディスクフォーマット

- ブルーレイ/ブルーレイ 3D ディスク: BDAV, BDMV, ブルーレイ 3D
- DVD: DVD-Video, AVCHD, AVCREC, DVD±VR, Karaoke
- CD: VCD, SVCD, Audio CD

対応ファイルフォーマット

- ビデオ: MPG, MPEG, AVI, DAT, VOB, H.264, AVC, VC1, MPEG-2 HD, MP4
- HD ビデオ: MPEG-2 HD, WMV-HD, MP4-HD, FLV, MKV, VC1
- Windows Media®: ASF, WMV, WMA, DVR-MS
- オーディオ: MP3, WAV, Audio CD

主な機能

sMedio WinDVD 4K が持つ様々な機能の中から、主な機能をご紹介します。(いくつかの機能は Pro バージョン専用です。)

数々の再生テクノロジー

DVD、ブルーレイ、ビデオファイルといった再生する映像の種類にかかわらず、WinDVD は最高の再生環境をご提供します。

無駄の無い、直感的なインターフェース

WinDVD 4K のインターフェースは、皆様の映像鑑賞の邪魔をしません。再生に関するほとんどすべての操作は画面下部に表示されるコントロールバーにまとめられています。右クリックで画面上に表示されるメニューからは音声選択や DVD のナビゲーション操作(チャプター選択、タイトル、サブタイトル設定、フルスクリーン表示、リピート設定など)を行うことができます。



図 1: WinDVD のコントロールバー(操作パネル)
(※Big Buck Bunny image credited to Blender Foundation / www.blender.org)

操作方法 - コントロールバーと右クリックメニューを使用する

- DVD または ブルーレイディスクを光学ドライブに挿入します。
- WinDVD 4K が自動起動します。(自動起動しない場合、Windows のプログラムメニューよりアイコンを選択して起動してください。)
- 画面が表示され、コントロールバーが操作可能な状態になります。
- 画面を右クリックするとオーディオ設定や DVD のナビゲーションに関する設定が可能です。
※いくつかの設定は、再生中のみ変更可能です。変更ができない場合はグレイアウトします。

パフォーマンスの最適化

WinDVD 4K は NVIDIA®、Intel®、AMD といったメーカーの最新 GPU ないしは CPU に最適化されており、遅延の無い、滑らかなビデオ再生が可能です。また、Windows 10、Windows 8.1、Windows 7 搭載のノート PC をご使用の場合は、独自の省電力テクノロジーにより、再生中のビデオの最後までバッテリーがもつように電源管理が最適化されます。

プレイリスト

WinDVD 4K でプレイリストを作成すれば、増える一方のビデオファイルをスマートに再生できます。プレイリストを管理するのは簡単です。プレイリストのパネルにファイルをドラッグアンドドロップするだけです。ファイルの追加や削除もワンクリックです。



図 2: プレイリストを作成する (※Big Buck Bunny image credited to Blender Foundation | www.blender.org)

操作方法 - プレイリストを作成する

- 画面を右クリックし、メニューよりプレイリストを表示を選択します。
- 追加したいファイルをプレイリストパネルにドラッグアンドドロップで追加します。
- 未保存プレイリストの文字を任意に変更し、プレイリストに名前をつけます。
- オリジナルのプレイリストの完成です。

スタンダード映像のアップスケール

実績あるアップスケールテクノロジーで、スタンダード画質の DVD やビデオファイルをハイビジョンの品質でお楽しみください。GPU アクセラレーションにより動作するアップスケールは、どのような PC 環境をご使用の場合でも、最低限の負荷で効果的に動作します。



図 3: 「比較」モードでビデオアップスケーラーを実行した状態のイメージ - 左側がオリジナル、右側がアップスケーリング処理された映像。(※ Big Buck Bunny image credited to Blender Foundation | www.blender.org)

設定方法 - アップスケールの利用

- ビデオを再生中に、コントロールバーが表示されている状態にします。
- ツール  ボタン をクリックし、オーバーレイメニューを表示します。
- アドバンス設定 ボタン  をクリックし、アドバンス設定画面を表示させます。
- ビデオをクリックしてから **ビデオエフェクト** タブを選択します。
- ビデオアップスケーラーを有効にするにチェックを入れます。
- ハイビジョン品質でビデオをお楽しみください。アップスケールの程度はスライドバーで調整可能です。

モーションストリームライナー

DVD ビデオやその他の主要なビデオファイルは毎秒 25 もしくは 29.97 フレームです(フレームレート)。アクションやパンなど、動きの早いシーンではビデオのオリジナルフレームレートでは映像再生がスムーズに見えない場合があります。WinDVD 4K のモーションストリームライナーを利用すればそのようなシーンの視聴も快適です。モーションストリームライナーはビデオのフレームレート向上させ、早い動きのシーンで発生するジッターを解消するためにフレームを補間します。

※モーションストリームライナーは 2D のプログレッシブ映像再生時のみ動作します。

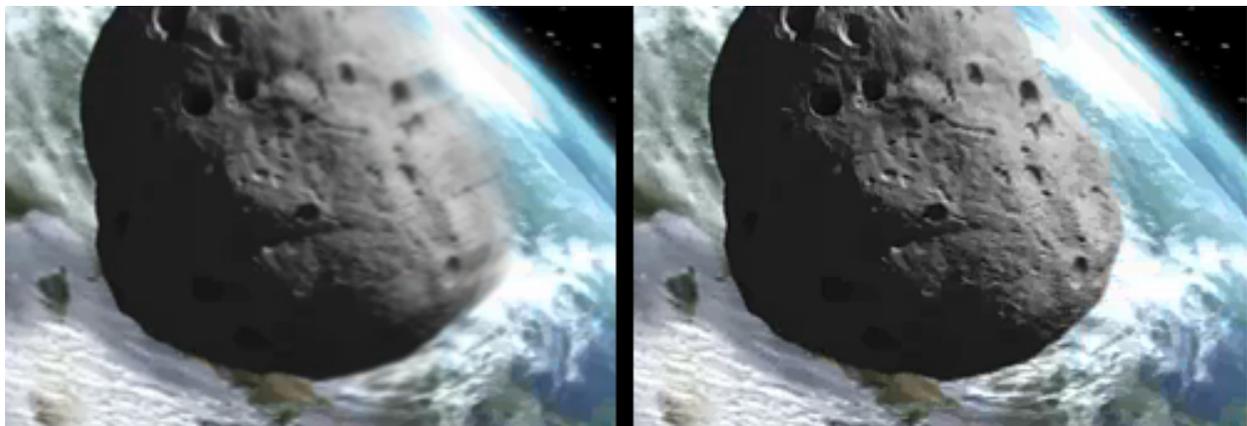


図 4: モーションストリームライナー動作時のイメージ - 左がオリジナル、右がモーションストリームライナー使用

操作方法 - モーションストリームライナーを有効にする

- マウスカーソルをコントロールバーの上に移動します。
- ツール  ボタンをクリックします。
- アドバンス設定  ボタンをクリックして、設定画面を表示させます。
- ビデオ をクリックしてから、ビデオエフェクト タブをクリックします。
- モーションストリームライナーを有効にするにチェックを入れます。
- プログレッシブ形式の映像を再生してください。より滑らかな映像をお楽しみいただけます。

静止画キャプチャ/クイッククリップ

WinDVD 4K を使えば、ビデオ映像を簡単に静止画もしくは Gif アニメーションでキャプチャできます。お気に入りの場面を PC の壁紙にしたり、簡単に好きなシーンをお友達と共有できます。クイッククリップによる Gif アニメーションキャプチャをすれば、ビデオの一部から 15 秒間を音声無しの Gif アニメーション動画として切り取ることができます。

※静止画キャプチャ/クイッククリップは DVD-Video、DVD-VR、SD 画質の MPEG2 に対応。

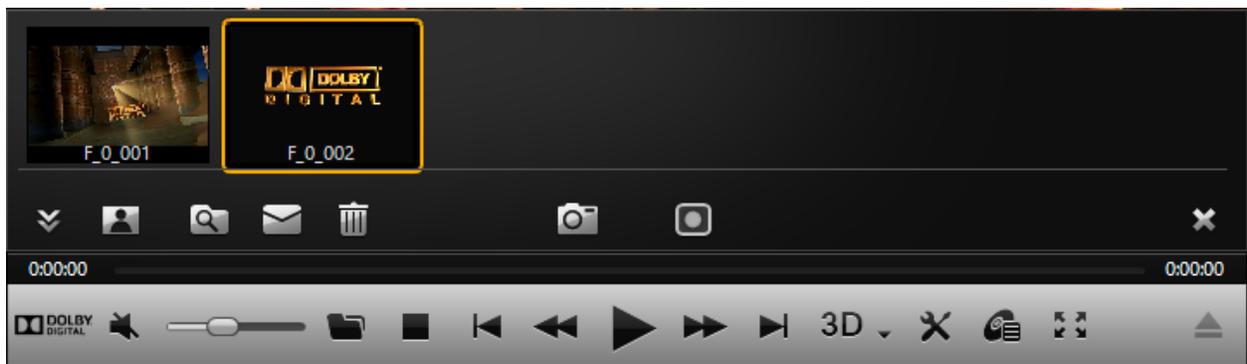


図 5: 静止画キャプチャ/クイッククリップのメニューとキャプチャされた映像のサムネイル

操作方法 - 静止画キャプチャ/クイッククリップを使用する

- コントロールバーのツール  ボタンをクリックし、キャプチャ  を選択します。
- 静止画キャプチャをするには キャプチャ  ボタンをクリックします。キャプチャされたシーンがキャプチャパネル上にサムネイルとして表示されます。
- クイッククリップを利用するには、録画  ボタンをクリックします。録画されたクリップがキャプチャパネル上にサムネイルとして表示されます。
- キャプチャした静止画やクリップをお友達に送りたい場合は、クリックし選択した後に、メール  ボタンをクリックします。

タイムストレッチ

DVD-Video もしくは DVD-VR 再生時にタイムストレッチを使用すれば、音声を損なうことなく再生速度を変更することができます。また終了時間を指定した場合は、自動的に再生速度が調整され、長い映画でも指定時間内に見終えることが可能です。



図 6: タイムストレッチ設定画面

操作方法 - 2 時間 30 分のムービーを 1 時間 30 分で視聴する

- コントロールバーのツール  ボタンをクリックします。
- アドバンス設定  ボタンをクリックし、設定画面を表示させます。
- ビデオ をクリックし、タイムストレッチ タブを選択します。
- ムービー長を調整を選択し、時間を 1 時間 30 分(01:30)に設定します。
- 再生を開始すると、ムービーを短縮して視聴できます。

サラウンドサウンド

WinDVD 4K のサラウンドサウンド機能により、頭上を飛ぶジェット機の轟音、降りしきる雨の音などを臨場感のあるサウンドで体験できます。拡張されたインターフェースにより今までになく簡単な操作で、デスクトップ PC やノートブックで映画館のような音響を体験できます。

WinDVD 4K Pro には、Dolby® Headphone、Dolby® Pro Logic® IIz、DTS® Neo:6. Plus といった様々なオーディオフィルタやノイズリダクションテクノロジーが含まれています。また、カラオケ DVD やビデオ CD の再生も可能です。



図 7: サラウンドサウンド設定画面

拡張ファイルフォーマット

WinDVD 4K Pro は様々な種類のビデオファイルの再生をサポートしています。対応している主なフォーマットは以下のとおりです。

MKV,、MP4、DVD-Video、AVCHD™、MTS、M2TS、Windows Media® (WMV)

ブルーレイ 3D™ 対応

WinDVD 4K Pro は OS 標準のプレーヤーソフトウェアでは不十分なお客様によりよい解決策を提供します。

WinDVD 4K Pro は、ブルーレイおよびブルーレイ 3D の再生、また、2D 映像の 3D 変換が可能です。

* 注: 3D 機能は WinDVD Pro バージョンにのみ搭載されています。Pro バージョンではないスタンダード版の WinDVD には 3D 対応機能が含まれていません。



図 8: 2D から 3D への変換時のイメージ。.(※Big Buck Bunny image credited to Blender Foundation | www.blender.org)

ブルーレイ™、ブルーレイ 3D™再生テクノロジー

WinDVD 4K Pro はブルーレイディスクやブルーレイ 3D 対応ソフトウェアとして、最新のブルーレイ/ブルーレイ 3D テクノロジーをサポートしています。ブルーレイの様々な拡張機能をお楽しみいただくために、WinDVD 4K Pro は BD ポップアップメニュー、BD-Live、BD-J、BD-ROM のデジタルオーディオ出力およびミキシングに対応しています。

BD-Live により、映画の予告編や特典映像のようなコンテンツをインタラクティブに利用することができます。また、128GB もの容量を記録できる最新のブルーレイフォーマットである BD-XL ディスクにも対応しています。さらに、3D 再生のアクセサリーである NVIDIA® 3D Vision™ シャッター・グラス、XpanD グラスのどちらにも対応しています。



図 9: 3D ディスプレイ設定

操作方法 -3D ディスプレイの設定画面を開く

- WinDVD が**停止状態** になっていることを確認します。
- コントロールバーの 3D  アイコンの隣にある、3D 設定  ボタンをクリックし、3D の設定画面を表示します。
- ディスプレイ モニター… ボタンをクリックします。
- 出力先のディスプレイの種類を選択してください。

2D 映像の 3D 化テクノロジー

WinDVD 4K Pro の 3D テクノロジーは映像のカラー、ポジション、動きの特性を解析し、2D 映像を奥行きのある立体的な 3D 映像に変換します。この機能は、DVD-Video、HD もしくは SD のビデオファイルを再生する際に利用することが可能です。



図 10: 3D 設定ダイアログボックス

操作方法 - 3D 変換の設定

- コントロールバーの 3D  アイコンの右隣にある、3D 設定  をクリックします。
- 3D 設定ダイアログボックスの 3D ステータス 項目がオンになっていることを確認します。
- コンテンツの種類 項目で以下のオプションのいずれかを選択します。
- オート - 3D 対応のディスクを自動的に判別します。
- 2D - 2D モードでディスクを再生します。
- 3D - 3D モードでディスクを再生します。
- 2D ビデオを 3D に変換する場合は、「2D を 3D に変換する」にチェックを入れます。
- 3D 深度 のスライダーを動かすことで 3D 効果の深度(奥行)の調整ができます。

sMedio について

株式会社sMedioは、めざましいスピードで進化するパーソナルコンピューターとポータブル機器に対して最先端のソフトウェアを高い競争力で提供することを目的に設立されました。この分野の開発と製品化において世界をリードする弊社は、本社を日本、開発拠点を上海におき、開発スピードと競争力の強化に努めております。

単に日本企業でなく、アジアから世界市場に製品とサービスを提供するアジア企業としてユニークな企業体系をとっており、「開発はアジアで市場は世界へ」を目指して2007年の設立以来マルチメディア系のソフトウェアの開発を進めております。

現在までにブルーレイプレイヤー、デジタルTV、ホームネットワーク、リモートアクセス関連の開発において成果をあげており、今後はこれらの成果をもとに携帯機器やスマートフォン、PC向けマルチメディアソフトウェアとネットワークの分野へ活動領域を広げてまいります。

より多くの皆様が、使いやすく、分かりやすく、そして身近に感じられる形で豊かなマルチメディアライフを享受できるよう企業として貢献し、顧客満足度を第一に地道な企業努力をしております。

Copyright© 2017 sMedio Inc. All rights reserved.

sMedio WinDVD® 4K PRO Reviewer's Guide

presented to you by
sMedio